

2021年度 帰国生選抜 「専門試験」「小論文」等の狙い・意図・採点のポイント

学科・専攻	専門試験（芸術学科は小論文）		面接		
	狙い・意図		狙い・意図		
日本画	昨年からのコロナによって大きく社会状況が変わり特別な年になった。多摩美の日本画生としてデッサン力はもちろんの事、社会を見つめる眼が重要な意味を持つ時代になっている。ただ絵が描けるといふ事以上に芸術家として何を感じるか、の試験でもある。題名を含め内容も判断材料とした。		題名そして内容を自身で説明してもらい、その考えを判断材料として加味した。（明解に説明できたかどうか）		●
油画					
版画					
彫刻					
工芸	形態、素材感、色彩感、立体感、空間的な配置、画面構成などの基礎的な描写力を確認する。また、鉛筆デッサンといえども、対象に向き合う際の作者の感動が伝わってくるような画面の雰囲気や表現力も期待する。		なぜ本学の工芸学科を選んだのか、そして何を学びたいのか。将来の展覧等について熱意と説得力のある答えを望む。同時に、実技試験を経た感想を話してもらおうことで、本人の制作についての考え方や取り組み方を再認識したい。また、面接の受け答えと小論文において、本学での学業を達成するために必要な日本語の能力を確認する。		●
グラフィックデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が正しいか 伝達力 問題の意図や状況を正確に表現しているか 発想力 問題を造形化するアイデアが優れているか 描写力 構図、形、動き、質感などを描写することに必要な技術が優れているか 個性 デッサンからうかがえる品格、感性に優れているか 		<ul style="list-style-type: none"> 入学志望理由が明確であるか 授業への取り組みの意欲があるか 		×
プロダクトデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が適切か 発想力 アイデアが優れているか 独創性 他にないアイデアか 実現力 アイデア具現化方法の知識があるか 表現力 アイデアが伝わる表現か 		<ul style="list-style-type: none"> 授業に必要な対話力があるか 本専攻の内容を理解しているか 本専攻への入学意図は明確か 自分の意見を述べられるか 学習意欲が感じられるか 		×
テキスタイルデザイン	テキスタイルデザインを学ぶため、次に述べる力が本人に備わっているかどうかを確認した。出題内容は、想像上の花と玩具として販売されるブロックをモチーフとした。布は想像上の布であり、またブロックは白いモチーフであったが、表現には色彩を使用するように指示されている。この背景をもとに「空想力」が今回の試験のキーワードとなっている。描写力では、構図、形態、質感などを描写する基礎的な力が備わっているか。基礎的観察力では、対象に向き合い細部まで丁寧に観察しているか。色彩表現力では、モチーフの観察から想像した色で、優れた配色がなされ表現できているか。デッサンや色彩表現では、観察力と独創的且つ調和的な構成が美しくいねいに描かれているかを確かめるようにした。また、日本語による理解力をみるために、設問の意図を正しく理解して答えているかどうか採点のポイントとした。		帰国生における日本環境の順応性には、留学生とことなり個人差があり開きも大きい。このことを留意しつつ、授業についていくことができる日本語によるコミュニケーション能力があるかどうか見極めるために試験をおこなった。 ■重要な試験のポイント <ul style="list-style-type: none"> 持参した作品の表現力や造形力が優れているかどうか 受験者の日本語力が本学でこなす授業に充分対応できるかどうか テキスタイルデザインを学ぶための意志や志願の動機についても満足に説明できるかどうか 本専攻の特徴を理解し志望理由と留学する意図が明確であるか 授業への取り組みの熱意、意欲があるか 		●
環境デザイン	環境デザインを学ぶ上で最低限必要な基礎的造形力、および基礎的デッサン力があるか。形、空間を把握し、平面上に表現する能力があるか。		本学科の授業を理解できるだけの日本語能力があるか。多摩美術大学、また本学科で環境デザインを学ぶ意欲、目的意識がはっきりしているか。日本の教育から離れていたことが、本学一般入試の受験にあたって著しく不利になっているかどうか。		×
情報デザイン メディア芸術コース	"手"と"三角定規"の対比(自然と人工)をどのように表現しているかがポイント。構図の新しさ、それぞれのマテリアルをちゃんと描き分けられているかが重要。これらの点が先ずは評価の対象となる。細かい点では、モチーフとして配布した三角定規の大きさをきちんと描けているか？三角定規のバース感をきちんと描けているか？などが挙げられる。		何故メディア芸術コースを選択したか？入学後にどのような事を学習したいか？など、明確な自分の意思を持っていて、それを言語化し且つ議論出来るかという点がポイントとなる。		●
情報デザイン 情報デザインコース					
芸術					
統合デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 理解力 問題の把握、理解が正しいか 観察力 日常の気付きからアイデアを導きだしているか 発想力 イメージを具象化するアイデアが優れているか 描写力 構図、形、光、質感などを描写することに必要な技術が優れているか 視点 事象を捉える感覚とその表現が適正で感性に優れているか 		<ul style="list-style-type: none"> 入学志望理由が明確であるか 専攻科の内容を理解しているか 授業に必要な対話力・語学力はあるか 授業への取り組みの意欲があるか 		×
演劇舞踊デザイン 演劇舞踊コース					
演劇舞踊デザイン 劇場美術デザインコース					

全学科共通小論文

出題)「多様性」について、あなたの考えを述べなさい。(800字程度)

- 帰国生の目から、日本の文化、社会、創作・創造・ものづくりはどのような姿に見えるのか。少なくとも日本と滞在の二つ、あるいは滞在国でより多くの複雑な多様性を目の当たりにしてきた帰国生の目に写るものを探りたい。
- 文化や創作から離れ、身分、格差、人種、性、年齢、LGBTなどの社会問題に切り込む姿勢も歓迎する。
- 生態系の多様性、といったアプローチも認める。
- 帰国生が本学で成長していくための下地となるものがここで問われると考える。
- 正しい日本語によって書かれているか、また意味内容が明確であり、かつ強い意欲が感じられるかという点についても合わせて考慮した。